

福島子どもの 心と未来を育む 市民フォーラム

東日本大震災・原発事故から丸4年。放射線の影響が出るかもしれない、出ないかもしれない「曖昧な不安」の中での生活が続いています。当会では、5年目を迎えるにあたって、ベラルーシ共和国立医科大学ワシリー・V・ルデノク副学長をお招きし、来日記念講演を開催します。ルデノク副学長にはベラルーシ共和国の子どもたちの健康等について、お話頂く予定です。そして、福島の子どもの健康について、甲状腺検査から見えるものと小児科医の立場から、地域における母子支援への取り組みについて、各分野でご活躍のパネリストからお話を頂いた後、指定討論者として保護者に登壇頂き、日頃自分たちが思っていること・感じていることを率直にぶつけるパネルディスカッションを行います。皆様と子どもたちのこころと未来を育むための活発な議論ができればと思いますので、ふるってご参加下さい。

公益信託うつくしま基金助成事業
公益財団法人ヨークベニマル文化教育事業財団助成事業

平成27年

3月8日

13:00~16:30

(受付開始:12:30)

●開催場所 郡山中央図書館
〈視聴覚ホール〉

参加無料
(事前申込)

- 開会のご挨拶 13:00 成井 香苗 (NPO法人福島子どものこころと未来を育む会 理事長)

- パネルディスカッション 13:05~15:15

「福島の子どもの健康について
～甲状腺検査から見えるもの～」

福島県立医科大学 甲状腺内分泌学講座 福島 俊彦 准教授

「福島の子どもの健康について
～小児科医の立場から～」

医療法人仁寿会 菊池医院 菊池 信太郎 先生

「伊達市の取り組みについて
～地域での母子保健活動を通して～」

伊達市健康福祉部健康推進課 保健師 菅野 誓子 様

【指定討論】

保護者代表 戸倉 深希子 様

- 来日記念講演 15:20~16:45

「ベラルーシ共和国における子どもの健康」

ベラルーシ共和国立医科大学副学長 ワシリー・V/ルデノク 教授

- 閉会のご挨拶 16:45

佐々木 正光 (NPO法人ベラルーシ友好協会 事務局長、在秋田ベラルーシ共和国名誉領事)

※演題名は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。



内科医。ベラルーシ共和国立医科大学副学長と国際部長も兼任されており、長崎大学・広島大学などとの交流が多く、日本との関係が深い方です。

- 参加申込／

EmailまたはFAXにて下記の事項を記入の上、お申込下さい。

①氏名 ②連絡先(ご住所、お電話番号)

※申込先着順で定員(240名)になり次第締め切らせて頂きますので予めご了承ください。

- お申込・お問い合わせ先／

Email: office@hagukumukai.com (24時間受付)

FAX: 024-946-9662 (受付時間10:00~18:00)

主催: NPO法人 福島子どものこころと未来を育む会

共催: NPO法人 日本ベラルーシ友好協会

在秋田ベラルーシ共和国名誉領事館